

令和元年度 第1回長岡市地域公共交通協議会

参考資料

◎協議事項第3号 平成31年度 事業内容について

今年度の主な取組み内容

- (1) 自家用車から公共交通への乗り換えによる利便性向上を目指した寺泊駅前広場整備
- (2) 公共交通空白地(中之島地域、和島地域、寺泊地域)における移動手段の検討(スクールバスの活用など)
- (3) 栃尾地域乗合タクシーの実証運行【本協議資料を参照】
- (4) 公共交通空白地有償運送(小国地域、川口地域、山古志地域・太田地区)の運行改善検討【本協議資料を参照】
- (5) 意識啓発活動の推進(小学校を対象としたモビリティマネジメント教室)

(1) 自家用車から公共交通への乗り換えによる利便性向上を目指した寺泊駅前広場整備

【概要】

施工場所：長岡市 てらどまりたけもり 寺泊竹森 地内
 整備内容：駅前広場整備（交通円滑化等）による交通事故防止
 送迎用駐車場整備
 事業期間：平成28年度から平成33年度（未公表）

【必要性】

- 寺泊地域の玄関口として、地元から早期整備の要望が上がっている。
- 送迎時間帯に一時的な渋滞が発生し、後方からの無理な追越し（逆走）による衝突事故発生の危険性が高いほか、歩行者の乱横断も多くあり、接触事故の発生も懸念される。
- 送迎時間帯は、駅前広場を車両が埋め尽くし、路線バスの運行に一部支障が出ている。

【現在の利用形態】



【事業スケジュール】

H28	H29	H30	H31	H32	H33
・測量調査 ・基本設計	・JR 協議	・用地測量	・実施設計	工事 (西側)	工事 (東側) ・用地買収

【H31事業内容】

実施設計業務（補助事業：社会資本整備総合交付金）
 実施設計業務（単独事業）

【寺泊駅利用状況】

<乗降客数>

通勤時間帯（6:00～8:30）

利用者：乗車153人・降車 5人

帰宅時間帯（15:50～19:00）

利用者：乗車 4人・降車121人



（送迎車両の主な移動導線）



（朝：渋滞状況と逆走車両）



（夕：交通錯綜状況）



（夕：駅前を埋める送迎車両）

(2) 公共交通空白地(中之島地域、和島地域、寺泊地域)における移動手段の検討

項目	内容
中之島地域	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 9 月 4 日から平成 30 年 3 月 30 日の期間、乗合タクシー「なかのん号」による公共交通空白地生活交通実証運行を実施。 ・平成 30 年 5 月 7 日から平成 30 年 5 月 24 日の期間、実証運行に関するアンケートを実施。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 実証運行アンケート : 配布数 641 部、回答数 533 部 (回収率 83%) タクシー利用者アンケート : 配布数 44 部、回答数 39 部 (回収率 89%) </div> ・今後は、地元が中心となって、生活交通確保のための対策を検討していく。
和島地域	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年 5 月 13 日の地元検討委員会において「長岡市和島地域生活交通検討委員会規約」を定め、正式に検討委員会を設立された。 ・同委員会では今後、割烹バスを活用した試験運行について、運行のルートや本数などを検討すると共に、割烹バスの運転手や地元との調整を進める。
寺泊地域	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年 2 月に、寺泊地域委員会が市に「寺泊地域における生活交通対策について (要望)」を提出し、デマンドタクシーやスクールバスの空き時間を活用した運行が有効との提案がなされた。 ・今後は、他の地域の事例を参考としながら、寺泊地域に相応しい生活交通対策を検討していく予定。

(5) 意識啓発活動の推進(小学校を対象としたモビリティマネジメント教室)

美原区におけるバスの利用促進



- 平成24年度より 小学生を対象にバスの乗車体験を実施。体験児童が書いた絵の絵画展を開催



車イスでの乗車体験



運賃の支払い体験



絵画展(商業施設にて開催)

- 平成24年度より みはら区民まつりにおいて啓発ブース及びバス車両展示等による利用啓発



バス事業者とともに「みはら区民まつり」に参加